

# いわて川ものがたり

かわ



テキスト：川村光夫

(劇団ぶどう座 創立者・主宰者)

作曲：岡田和夫

編曲・構成：金子忍

演出：吉田水子

舞台美術 (蘭細工制作)

：江見夏恵 (工房 夢葩＊花)

よしだみなこ かねこのぶ  
出演：吉田水子 金子忍

(コントラバス・歌・朗読) (ギター・歌・朗読)

## 【演奏曲】

- ・序曲
- ・なまこいろの山
- ・いのちのざわめき
- ・蛙
- ・くるみがひとつ
- ・啄木のうた (石川啄木)
- ・イギリス海岸 (宮沢賢治)
- ・甲助 (宮沢賢治)
- ・河童怪談 (遠野物語)
- ・かくれ水ア
- ・いろはたんか (百姓一揆)
- ・川、それは私の故郷
- ・西嶺の山に～エミシ花エミシ馬 (アテルイ・モレの活躍)
- ・冬・白鳥が飛ぶ (安倍貞任・奥州藤原三代の栄華)
- ・二つ川ここに会したり (宮沢賢治)
- ・ごらんよ (北上川5大ダム計画)
- ・川 (東日本大震災)

## “合唱と朗読による構成詩『いわて川ものがたり』”

は、日本の地域演劇史に大きな足跡を残す“劇団ぶどう座 (岩手県西和賀町=旧・湯田町)”の創始者・主宰者である川村光夫氏のテキストと、数あまたの演劇音楽と合唱曲を手がけた岡田和夫氏の作曲による、朗読と四部合唱によって構成された合唱組曲です。岩手県を流れる川の流れに沿って、四季折々の雄大な自然と、いにしえから現在までの岩手の人々の歴史を綴った壮大な作品で、石川啄木や宮沢賢治の作品、アテルイ・モレと大和朝廷軍の戦い、奥州藤原氏三代の栄華、南部三閉伊一揆、遠野物語、昭和のダム建設で湖底に沈んだ村の歴史、そして東日本大震災までのエピソードが、時代を前後しながら物語られています。そこに描かれる、自然と共に寄り添って生きる人々の姿、その地に根付いた文化、少数民族や農民に対する時の為政者の横暴、それに立ち向った人々の力と、時には屈せざるを得なかった無念、そして、抗うことのできない大自然の脅威などは、「いのちと平和」「様々な文化を持つ人々同士の共存」「人と自然の共生」といった、現代を生きる全ての人に通じるテーマにつながっています。この作品を、岡田和夫氏の弟子である金子忍がコントラバスとギターと二声の弾き語りに編曲し、まずは地元岩手で広めたいと、盛岡にも拠点を置いて2021年から盛岡を中心に岩手県内で上演してきましたが、“自然と人間”“人間と人間”が大きなうねりの渦中にある今、歴史に学び未来を見つめるきっかけになることを願って、全国に発信していきます。



## 【お問い合わせ】 吉田水子企画

東京都町田市南大谷 1 3 2 9 - 2 5 6 Tel. 050-3746-1566 Fax. 050-3737-0238

【岩手オフィス】岩手県盛岡市神明町 1-24 マロン・クレール 工房 夢葩＊花 内

E-mail=minaco@cotori.jp HP= <https://yoshidaminacoplanning.jimdofree.com>



吉田水子企画